

主催 第55回はたらくものの音楽祭 中央実行委員会 / 第55回はたらくものの音楽祭 沖縄県実行委員会

第55回はたらくものの音楽祭

The 55th music festival of workers

音楽は世界を変える

Music changes the world.

沖縄の チムグクルをあなたへ

ジュゴンの見える丘より、辺野古、大浦湾を遠望

2024年 9月21日(土) 大音楽会Ⅰ
13時開会

9月22日(日) 大音楽会Ⅱ
10時開会

ゲスト 前花雄介 (シンガーソングライター・石垣島出身)

那覇文化芸術劇場なは一と
小劇場
那覇市久茂地 3-26-27

入場無料

問い合わせ・連絡先 090-1942-9690
平良昌史 (那覇市職労委員長)

詳細はこちらからご確認ください 



イクサユン シマチ, ミルクユン ヤガティ
(せんそうは もうじきおわる, へいわでゆたかなときがくる)

ナギクナヨ シンカ, 又チドウ タカラ
(なくなよ みんな, いのちこそ たから)

絵本『おきなわ 島のこえ』作 丸木俊 丸木位里 <小峰書店> より

55 回目を迎える『はたらくものの音楽祭』が、24 年ぶりに沖縄で開催されます！

労働者としての、生活者としての視点で歌を創り演奏する仲間たちが、全国から集まります。

貴方も歌いにきてください！ 聴きにきてください！

音楽は世界を変える 沖縄のチムグクルをあなたへ

沖縄には、独自の歴史や文化によって培われた寛容の心と万国津(しん)梁(りょう)の精神で多くの国々と交流し、平和を維持してきた歴史があります。それを表した沖縄の島言葉(ウチナーグチ)に「チムグクル」という言葉があります。「肝心 チムグクル」とは、「相手を心から思いやること」を意味します。沖縄の人々(ウチナーンチュ)が悲惨な沖縄戦を体験し、その実相や教訓を次の世代に正しく伝えて、二度と同じ過ちを繰り返さない、平和と命の尊さを大切にするのが「沖縄のこころ・チムグクル」です。

戦争に勝者はいない、お互いを本当に思いやる関係を望むならば、痛んだ心や悲しむ心を深く慮る「チムグクル」をあらためて心に刻み、その痛みを分け合い、許し合うことが、全ての人に求められているのです。



5・15 平和行進で送り出し演奏をする日音協沖縄行動参加者



日本音楽協議会（日音協）とは

日本音楽協議会（通称日音協）は、1965 年の設立以来、つくり、うたい、ひろめ、つなぎあう、4つの活動のもと、みずから音楽で表現する全国の音楽仲間を結集し、労働組合、民主団体等と共に、職場や地域等の様々な音楽現場を持つ音楽団体です。この活動から、労働、平和、生活、反原発を歌う、たくさんのオリジナルソングが生まれています。

はたらくものの音楽祭とは

日音協設立 2 年後の 1967 年に第 1 回が開かれ、当初は東京のみの開催でしたが、第 23 回群馬祭典から地方持ち回りとなりました。

年に 1 回の開催には全国各地で活動する、単産・支部・サークルに参加する仲間が集まり、活動の成果を発表し、また開催地の労働者や地域の方々に聴きにきていただいています。



第 54 回ははたらくものの音楽祭オープニング合唱 新潟県長岡市



前花雄介オフィシャルウェブサイト
<http://www.youthke.com>

CD、絵本 CD、好評販売中

ゲスト 前花雄介さん プロフィール

〈9月21日(土)大音楽会I 17時以降に出演予定〉

石垣市宮良出身。民俗学者の祖父・八重山民謡「とっばら一ま」チャンピオンの父と弟を持ち、八重山の歴史や自然、文化などをオリジナルで歌うシンガーソングライター。早稲田大学在学中は音楽サークルに所属し、卒業後に音楽活動を開始。2006年に石垣島へ活動拠点を移し、現在那覇市在住。

久米島で台風被害復興チャリティーライブを行ったことをきっかけに、楽曲のテーマを沖縄の事象に特化する。社会の縮図とも言われる小さな島の小さな事象の中には、忘れてはいけない歴史や心の支えとなる大切なこと、今も昔も変わらない社会の構図など、考えさせられる物事があふれており、それを歌にのせることでジャーナリズムや音楽の可能性を感じられるライブを行っている。3.11以降はメモリアルライブをはじめ、震災復興支援活動にも積極的に参加。

ギターと三線、パーカッションのどこか懐かしい音色と沖縄の新旧を融合したモダンスタイルのライブは、日々進化しながら聞く人の心を癒している。